

## 預金業務

### ▶ 預金積金及び譲渡性預金平均残高

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
流動性預金	741,755	771,419
うち有利息預金	650,776	671,491
定期性預金	413,279	386,739
うち固定金利定期預金	403,575	377,659
うち変動金利定期預金	156	142
その他預金	5,407	4,837
小計	1,160,442	1,162,996
譲渡性預金	—	—
合計	1,160,442	1,162,996

(注) 1. 流動性預金 = 当座預金 + 普通預金 + 貯蓄預金 + 通知預金

2. 定期性預金 = 定期預金 + 定期積金

固定金利定期預金：預入時に満期日までの利率が確定する定期預金

変動金利定期預金：預入期間中の市場金利の変化に応じて金利が変動する定期預金

3. 国内業務部門と国際業務部門の区別はしていません。

### ▶ 定期預金残高 (期末残高)

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
定期預金	385,786	364,872
固定金利定期預金	385,480	364,573
変動金利定期預金	145	139
その他	159	159

## 融資業務

### ▶ 貸出金平均残高

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
割引手形	1,633	1,400
手形貸付	25,438	27,966
証書貸付	559,190	561,216
当座貸越	12,758	13,650
合 計	599,020	604,234

(注) 国内業務部門と国際業務部門の区別はしていません。

### ▶ 貸出金残高

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
貸出金	606,142	611,616
変動金利	385,496	385,027
固定金利	220,645	226,588

### ▶ 貸出金の担保別内訳

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
当金庫預金積金	3,837	3,882
有価証券	3	8
動産	—	—
不動産	122,845	120,878
その他	0	0
小 計	126,686	124,769
信用保証協会・信用保険	157,849	159,008
保証	155,263	154,476
信用	166,342	173,363
合 計	606,142	611,616

### ▶ 債務保証見返の担保別内訳

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
当金庫預金積金	46	65
不動産	149	56
その他の物的担保	0	0
小 計	196	122
信用保証協会・信用保険	77	72
保証	—	—
信用	34	34
合 計	308	229

## ▶ 貸出金使途別残高

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)		第102期 (令和7年3月31日)	
	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比
設備資金	323,297	53.3%	320,059	52.3%
運転資金	282,844	46.6%	291,557	47.7%
合 計	606,142	100.0%	611,616	100.0%

## ▶ 預貸率

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
期末預貸率	53.19%	54.01%
期中平均預貸率	51.61%	51.95%

(注) 1. 預貸率 =  $\frac{\text{貸出金}}{\text{預金積金} + \text{譲渡性預金}} \times 100$

2. 国内業務部門と国際業務部門の区別はしていません。

## ▶ 貸倒引当金内訳

(単位：百万円)

		期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
				目的使用	その他	
一般貸倒引当金	第101期(令和6年3月31日)	911	1,297	—	911	1,297
	第102期(令和7年3月31日)	1,297	1,264	—	1,297	1,264
個別貸倒引当金	第101期(令和6年3月31日)	1,971	1,828	129	1,841	1,828
	第102期(令和7年3月31日)	1,828	1,259	86	1,742	1,259
合 計	第101期(令和6年3月31日)	2,882	3,126	129	2,753	3,126
	第102期(令和7年3月31日)	3,126	2,523	86	3,040	2,523

## ▶ 貸出金償却

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
貸出金償却	489	115

## 信用金庫法開示債権に対する担保・保証及び引当金の引当・保全状況

### ▶信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,991	5,387
危険債権	9,800	10,017
要管理債権	3,170	2,467
三月以上延滞債権	92	69
貸出条件緩和債権	3,078	2,398
小計 (A)	18,963	17,873
保全額 (B)	14,902	13,744
個別貸倒引当金 (C)	1,828	1,259
一般貸倒引当金 (D)	436	439
担保・保証等 (E)	12,637	12,046
保全率 (B)／(A) (%)	78.58	76.90
引当率 ((C)+(D))／((A)-(E)) (%)	35.80	29.15
正常債権 (F)	590,227	596,702
総与信残高 (A)+(F)	609,190	614,575

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「個別貸倒引当金」(C)は、貸借対照表上の個別貸倒引当金の額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。
7. 「一般貸倒引当金」(D)には、貸借対照表上の一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。
8. 「担保・保証等」(E)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
9. 「正常債権」(F)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
10. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。）です。

## 有価証券

### ▶商品有価証券平均残高

該当ありません。

### ▶有価証券の残存期間別残高

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)				
	1年以下	1年超5年以下	5年超10年以下	10年超	期間の定めのないもの
国債	—	—	—	8,536	—
地方債	—	—	565	46,322	—
社債	4,249	11,184	1,994	15,145	2,749
株式	—	—	—	—	72
外国証券	800	13,688	5,163	23,552	—
その他証券	1,197	12,550	886	—	8,756
合計	6,246	37,423	8,609	93,558	11,579
	第102期 (令和7年3月31日)				
	1年以下	1年超5年以下	5年超10年以下	10年超	期間の定めのないもの
国債	—	—	23,689	6,507	—
地方債	—	540	—	40,957	—
社債	2,439	18,647	8,716	14,167	2,720
株式	—	—	—	—	72
外国証券	1,497	16,725	5,469	21,152	—
その他証券	1,282	3,954	1,006	—	9,273
合計	5,218	39,867	38,881	82,785	12,067

### ▶保有有価証券平均残高

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
国債	35,438	20,286
地方債	55,778	52,108
社債	38,978	39,213
株式	200	72
外国証券	56,056	48,132
その他証券	25,270	19,594
合計	211,724	179,407

(注) 商品有価証券は保有していません。

### ▶預証率

	第101期 (令和6年3月31日)	第102期 (令和7年3月31日)
期末預証率	13.81%	15.79%
期中平均預証率	18.24%	15.42%

(注) 1. 預証率 =  $\frac{\text{有価証券}}{\text{預金積金} + \text{譲渡性預金}} \times 100$   
 2. 国内業務部門と国際業務部門の区別はしていません。

## 有価証券の時価情報

### ▶ 売買目的有価証券

該当ありません。

### ▶ 満期保有目的の債券

	種類	第101期 (令和6年3月31日)			第102期 (令和7年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	900	900	0
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	900	900	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	23,689	23,013	△675
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	15,392	15,081	△310
	その他	—	—	—	4,500	4,437	△62
	小計	—	—	—	43,581	42,532	△1,048
合計	—	—	—	44,481	43,433	△1,048	

### ▶ 市場価格のない株式等及び組合出資金

(単位：百万円)

	第101期 (令和6年3月31日)		第102期 (令和7年3月31日)	
	貸借対照表計上額		貸借対照表計上額	
子会社・子法人等株式	10		10	
非上場株式	62		62	
組合出資金	13		11	
合計	86		84	

### ▶ その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	第101期 (令和6年3月31日)			第102期 (令和7年3月31日)		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	18,210	18,001	208	6,672	6,634	37
	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	565	556	8	—	—	—
	社債	17,645	17,444	200	6,672	6,634	37
	その他	19,135	18,100	1,034	13,079	12,149	930
小計	37,345	36,102	1,243	19,751	18,783	967	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	72,538	80,230	△7,692	71,732	84,263	△12,531
	国債	8,536	9,516	△979	6,507	8,013	△1,506
	地方債	46,322	52,374	△6,051	41,497	51,315	△9,817
	社債	17,678	18,339	△661	23,727	24,934	△1,207
	その他	47,447	52,527	△5,080	42,772	49,193	△6,420
小計	119,985	132,758	△12,773	114,504	133,456	△18,952	
合計	157,331	168,860	△11,529	134,255	152,240	△17,984	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
 3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

## 金銭の信託

該当ありません。

## デリバティブ取引

該当ありません。

## 外国為替業務

該当ありません。